

澤風七號驅逐艦觸衝一件

0284

秘

海軍大臣

第二水雷戰隊司令官

一三、六、四  
午後六時二三  
午後七時五七  
横須賀  
海軍省着

四日午前十一時三十分澤凡試運転ヨリ帰  
港繫留、際右舷推進翼ヲ以テ第七駆  
逐艦左舷推進翼ニ触衝シ澤凡ハ推進  
翼三枚第七駆逐艦ハ二枚何レモ約四時  
ヨリ六時弯曲損傷ヲ生シ後者ニ多少  
亀裂アリ兩艦共ニ渠修理ヲ要スルト認ム  
右不取敢報告ス

0285



11月10日

大正十三年六月五日

六月十一日

郵務局

法務局

人事局

郵政本部

五九

海軍大臣村上格一般

五月十日

第一課 艦隊 澤風觸衝事件報告

右 提出

山田 一 通 添

第一課長

局員

第五部

總務部

第二課

第一課

13.7.3

13.7.2

13.7.1

藤田

洪

13.6.28

13.6.7

終

18.6.21

13.6.16

0286

驅逐艦澤風觸衝事件報告

驅逐艦澤風、大正十三年六月廿四日午前九時四十九分兼ヲ修  
理セル主クモ減速齒車裝置試運轉ノ為メ東京灣運動  
シ試運轉終了歸港ノ途ニ就キY六番浮標ニ出船ニ繫留ノ  
目的ヲ以テ横須賀軍港第三區防波堤内ニ於テ湾口ニ回頭  
艦長自ラ艦ヲ操縦シ後進ヲ以テ入港ヲ企圖セリ  
當日天候晴海上和 特記スヘキ風亦ナシ  
午前十一時十三分入港用意ヲ令シ適宜兩舷機及舵ヲ  
使用シテY六Y七番浮標ノ間ニ向ヘリ午前十一時十四分兩  
舷機ヲ後進半速ヨリ後進微速トナシ全十六分兩舷機停  
止ヲ令シ右舷内火艇ダビットニ臨時吊シアリシ第三カッター  
ヲ卸サントセシメ後進情カ意外ニ大ニシテ短艇索ヲ離脱ス

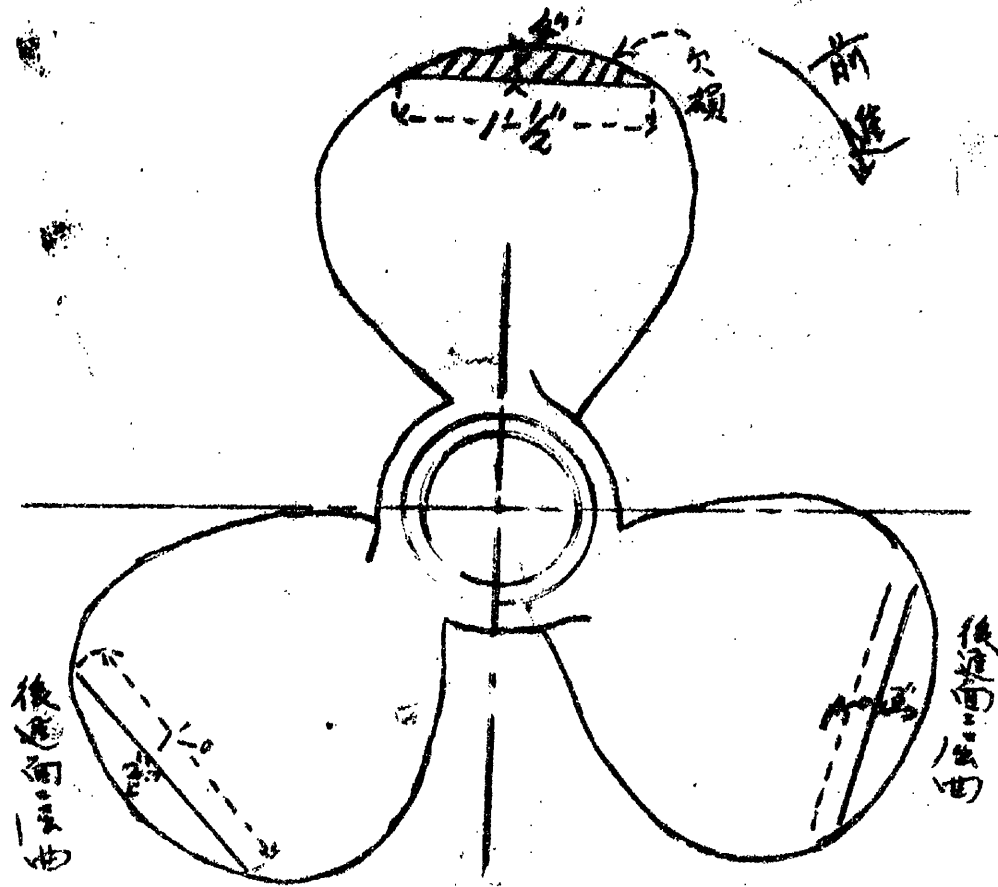
ル下能ハスシテガツターハ本艦ノ突カレタル儘ヨ六番浮標  
 釣提サレノ状況トナリシヲ以テ向航機前進半速ヲ令セリ  
 當時航機ヨ六番浮標ニ繫留セル第七號驅逐艦ト進行トキ  
 シテ後進ノ行脚ニ對シ取舵二十度ヲ令セリ此時航機  
 尾ヲ右舷ニ振レノ傾向ヲ生シ且ツ七號驅逐艦ト距離甚多  
 接近セルヲ以テ右舷推進器ヲ顧慮シテ午前十一時十七分一  
 且向航機ヲ停止シ左舷機前進半速ノ積リテ右舷前進半  
 速ト令セシメ當番ノ復唱ヨリ其誤ヲ氣付キ直ニ右舷停止  
 ヲ令シ左前進半速續テ原速ヲ令セシメ尚後進惰力大ナリ  
 シカハ左前進強速ノ意味ヲ以テ單ニ強速ト令同時航機ヲ  
 戻シ左舷機ヲ投下セシカ間ニ魚ヲ午前十一時十八分頃本  
 艦右舷機尾ヲ以テ第七號驅逐艦ニ一ニ番ビム附近ニ  
 約五度ノ交角ヲ以テ接觸シタル儘靜ニ後退シ機軸ノ前進

カト船ノ他傷カトノ効ヲ奏スルニ及ヒテ艦ハ第七號驅逐艦ト称ト齊  
 頭ノ位置ニ停止シ續テ機軸停止ヲ令セリ  
 右舷速力通信器當番ハ先ニ令セラルタル強速ヲ両舷機前  
 進強速ト判断シ速力通信器ヲ發動セシテ以テ両舷機共  
 前ニ回頭轉シテ艦ノ後退ニヨリ本艦右舷推進器ハ第七  
 號驅逐艦ノ左舷推進器ニ觸レ令艦ノ左舷推進器ヲ毀  
 損シ本艦推進器亦別紙ノ如キ損害ヲ生スルニ至レルモノナリ  
 右報告ス

終

海軍

船尾船頭風向儀推進器  
 欠損器図  
 後方ヨリ見た図



0290

第一艦隊機務第一四八號

大正十三年七月十七日 佐伯湾 艦隊司令部

第二艦隊司令長官 加藤寛治

海軍大臣 財部 彪 殿

第一課 澤

第七號驅逐艦 澤風 觸衝ニ関スル件

大正十三年六月四日 横須賀軍港ニ於テ 驅逐艦 澤風 浮標

下 繫留ノ際 第七號驅逐艦ニ 觸衝セル事件ニ 其ノ原因

澤風 驅逐艦長ノ 航行船上 周到ナル 注意ヲ 欠キタル 基因スル

コト 明カ 局 員 同 事件ニ 関シ 査問會ヲ 組織 致サス 候 条

査問會規則 第二條 第二項ニ 依リ

澤 報 第一課長

局 員

追テ 澤風 驅逐艦長ニ 對シテハ 予 驅逐艦 第一八。 第二艦

法務局 13.7.24 接受

13.7.25 第一

0291



